

「重度障害者のための生活介護事業所」整備に向けた新たな推計（案）

1 H29.6 たたき台推計と実績の乖離について

H29.6「重度障害者のための生活介護事業所整備構想（たたき台）」では、重度障害者のための生活介護事業所について、およそ10年後の2025年（令和7年）で371人分（利用定員60人の事業所で7所程度）の整備が必要と想定していたが、当時の推計と実績に乖離が生じている。

	2015 (H27)実績	2020(R2)		2025 (R7)推計	傾向 (H28~R4)
		推計	実績		
①障害者手帳所持者数	2,269人	2,527人	2,561人	2,781人	毎年 +80.2人増
②日中活動系サービス利用者数	394人	1,385人 +198人/年	609人	1,524人 +113人/年	毎年 +21.8人増
③生活介護を利用する重度障害者数	120人	431人	180人	475人	毎年 +4.3人増
④-1 市内事業所(公・民)の重度障害者の受入人数	104人 公立：75人 民間：29人	104人 H27実績値	154人 公立：79人 民間：75人	104人 H27実績値	毎年 +4.5人増
④-2 市外事業所の重度障害者の受入人数	15人	想定なし	16人	想定なし	1年平均 18人
⑤今後整備が必要な生活介護事業所の重度障害者利用枠(③-④)		327人分		371人分	

<<今後の整備必要数の算定式>>



②日中活動系サービスの利用者数

③生活介護を利用する重度障害者数

2 H29.6 たたき台の現状と課題について

(1) 「④-1 市内事業所(公・民)の重度障害者の受入人数」について、

- ・「H27実績」の104人から増えないと想定していたが、実際はR2実績で154人と増加しており、民間事業所(市内)が重度障害者ニーズの受け皿となっている。

市内事業所(公・民)の重度障害者の受入人数 (H28~R4 平均)	毎年 +4.5人増
--------------------------------------	--------------

(2) 「④-2 市外事業所の重度障害者の受入人数」について、

- ・R2実績で16人(R4実績で25人)であり、市外事業所も重度障害者ニーズの受け皿となっている。
- ・なお、民間事業所(市内)での他市民の重度障害者の受け入れ(R2実績)は46.4人。

市外事業所の重度障害者の受入人数 (H28~R4 平均)	1年平均 18人
---------------------------------	-------------

(3) 「②日中活動系サービス利用者数」について、

- ・「H23 厚生労働省調査」を活用して、今後の利用ニーズ(障害者手帳所持者に占める割合)を54.8%で推計したことにより、R7まで平均+113人/年の増加を見込んでいたが、実績と大きく乖離している。

日中活動系サービス利用者数 (H28~R4 平均)	毎年 +21.8人増
------------------------------	---------------

⇒「新たな推計」では、「市内事業所(公・民)の重度障害者の受入人数」及び「市外事業所の重度障害者の受入人数」の見込みを反映。

⇒「新たな推計」では、推計の元となる各項目の実績値(H28~R4)を再精査し、より適切な「日中活動系サービス利用者数」を新たに推計。

3 「新たな推計」の算出について

(1) 「新たな推計」の算出方法

(ア) 目標年次を、令和 15 年度（現時点(R5)から 10 年後）とする。

(イ) 推計を算出する各数値（「障害者手帳所持者数」「日中活動系サービス利用者数」）は、H28～R4 の平均値を用いる。

	新たな推計	H29.6 たたき台
障害者手帳所持者数	毎年+80.2 人増	+51.2 人/年
日中活動系サービス利用者数	毎年+21.8 人増	+113 人/年

(ウ) 「市内事業所(公・民)の重度障害者の受入人数」及び「市外事業所の重度障害者の受入人数」を差し引いて、市として整備する必要がある人数を推計する。

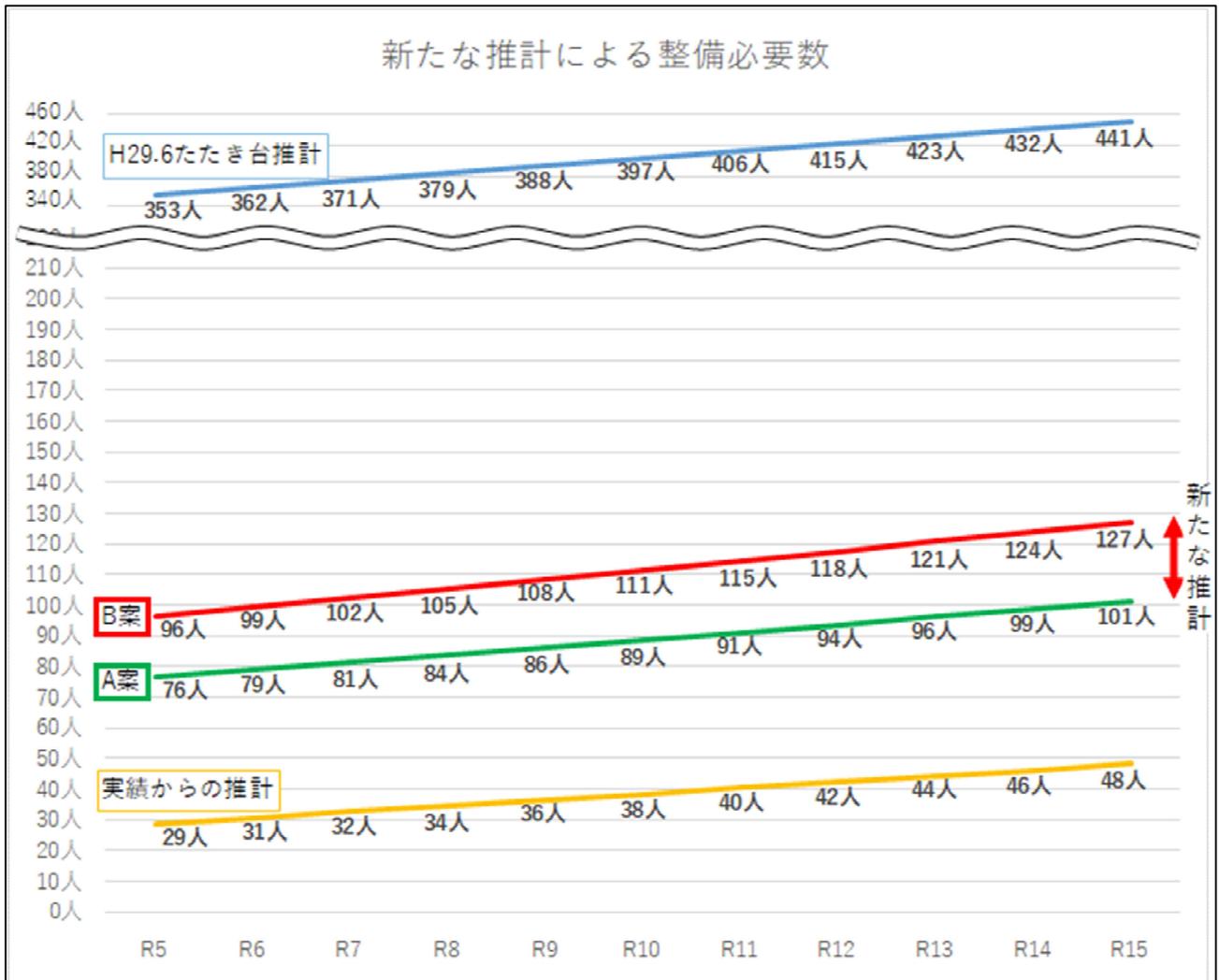
	新たな推計	H29.6 たたき台
市内事業所(公・民)の重度障害者の受入人数	毎年+4.5 人増	想定なし
市外事業所の重度障害者の受入人数	1 年平均 18 人	想定なし

(エ) 日中活動系サービスの今後の利用ニーズ（障害者手帳所持者に占める割合）を、「令和 4 年度箕面市障害福祉に関するアンケート」を用いて、複数パターンで推計する。

新たな推計での今後の利用ニーズのパターン			H29.6 たたき台
A	問 16 「障害福祉サービスの利用状況」から、 ・「現在、日中活動系サービスを利用している人」 ・「現在、利用したいができていない人」 と回答した人の割合	29.38%	54.8%
B	問 24 「平日の日中の過ごし方」から、 ・「現在、日中活動系サービスを利用している人」 ・「将来、日中活動系サービスを利用したい人」 と回答した人の割合	31.77%	

(2) 推計結果

	H29.6 たたき台	新たな推計(R15)			
		パターンA	たたき台との差	パターンB	たたき台との差
①障害者手帳所持者数	3,187人	3,632人	445人	3,632人	445人
②日中活動系サービス利用者数	1,746人	1,067人	△ 679人	1,154人	△ 592人
③生活介護を利用する重度障害者数	545人	316人	△ 229人	342人	△ 203人
④他の事業所の受入	④-1 市内事業所(公・民)の重度障害者の受入人数	104人	111人 (差し引く)	197人	111人 (差し引く)
	④-2 市外事業所の重度障害者の受入人数	—		18人	
⑤今後整備が必要な生活介護事業所の重度障害者利用枠(③-④)	441人	101人	△ 340人	127人	△ 314人
R15年度の整備必要数	441人	110人～130人の範囲 (※推計値の切り上げ)			



4 「新たな推計」に基づく施設整備手順（目標）

施設名	開園時期(目標)	整備定員数(予定)
中部施設	R 7. 7	新規 60 人
あかつき園再整備	R 8. 12	新規 30 人
東部施設	R10 ※R8 年度にニーズ数を再検証する。	最大 40 人 (20 人~40 人)
合計		110~130 人

※東部施設に求められるニーズ数は 20 人~40 人であるため、整備定員数は最大 40 人を想定。ただし、R8 年度に再検証し、整備定員数を決定する。